

**唱和や服装点検などやることが一杯！**

**職場はポスターや掲示だらけ！**

**本来業務をちゃんとやりましょう！！**

会社は、この6月からゼロのつく日を「安全の日」に制定し、点呼の際に「労災根絶の誓いの唱和」「服装の点検」「過去労災事例の紹介」「管理者の訓示」などを新たに行うとしています。

総点呼や会社幹部が来所した際にも「訓示」等が行われ、その他にも「各種表彰」などで時間を食うことがあります。今後はそれに加えて月にほぼ3日間点呼の際に「安全の日の儀式」が増えることとなります。

交番検査の作業ダイヤでは、準備時間を含めた点呼の時間は10分間です。その次はもう「予備検査」の時間です。「安全のため」と言えども、これ以上点呼の際にやることを増やすのはいかなもののでしょうか。それよりも当日朝出される「作業指示」等の打ち合わせを現場の記録室でGリーダーとB担務・C担務が揃って例え1分間でも作業前に行う方がよほど「安全」のためになるのではないのでしょうか。

今、職場ではカベ一面に「各種掲示板」「ポスター」「スローガン」などがベタ貼りされています。まさに「腹一杯」です。「関西支社としての3大テーマを私たちの職場では目一杯実践しています」というアピールにはなるでしょうが、私たちの仕事は電車の検査修繕です。社員がプレッシャーを感じるばかりの職場で本当に「安全」は確保されるのでしょうか。